



池尻 浩一 議員

地域コミュニティ

Q

地域コミュニティ力の低下をどう考えるか

A

向上を進めていく

池尻 地域コミュニティは、地域の問題解決や地域活性化に役立っている。課題調整、まちづくりや治安維持、環境保全や防災といった役割を果たしている。しかし、地域経済の縮小、人口減少、少子高齢化により、コミュニティ維持が困難になって

いる。町では今後どのような推進していくのか。

町長 新型コロナウイルス感染症の影響で人と人との

接触が制限され、地域コミュニティ力の低下が懸念されるようになった。

まちづくり委員会との意見交換会や地区担当職員制度の強化を行い、向上を進めていく。

池尻 祭りやスポーツ等での地域交流は必要と総合計画にもあげられているが、今後はどうするのか。

教育長 昨年末には人権フェスタ、図書館まつり、防災フェア等で、多くの住民に会場いただいた。

一方、町民体育大会は町民相互の交流の場として重要な役割を果たしてきたが、スポーツフェスタへの変更を考えている。その他、eスポーツの推進や体験事業などを検討している。

池尻 参加可能な方や興味のある



藤田区の花いっぱい花だん

の方が中心になっている。幅広い交流イベントはどう考えているか。

教育長 イベントの在り方を地域皆で考えていくことから地域コミュニティの向上につなげていきたい。

池尻 小学生の教科書に「町の幸福論」というものがある。小

こども食堂

A

調査・研究を行う

Q

こども食堂支援は

池尻 こども食堂は全国に広がり、9千件を超えている。始まった当初は貧困家庭を中心に食事の提供、孤食をなくすことから始まり、年齢や貧困に拘らず、学習支援等を行い、地域交流の場へと活動を広げている。

近隣自治体でも予算を組んで活動支援を行っている。町ではどう考えるか。

町長 こども食堂は新たな居場所としても注目されている。

町では令和6年度より、こどもまんなかプロジェクトと称して、子ども・子育てに関する施

学生にコミュニティの必要性を教えながら、地域の大人が忘れていない。多忙や面倒を言い訳には出来ない。町はどのように取り組んでいくのか。

町長 コロナ禍で自粛されたイベントの復活、地区担当職員の強化と地域の一体となった取り組みを計画している。

策に取り組んでいく。その中で調査、研究を行っていく。

池尻 こども食堂からの正式な要望がない中、町としても取り組みが難しい。貧困家庭は想定よりも多いと予想される。食育対策、孤食対策といったものは考えているのか。

町長 学習支援としては、県の事業ではあるが、はなやぎの里において毎週土曜日に取り組んでいる。また、社会福祉協議会において、食料支援や生活福祉資金貸付等を行っている。